

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

同連絡先

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
TEL 0120-782-031（フリーダイヤル）
<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

上場証券取引所

東京証券取引所

公告の方法 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載する方法により行います。

● 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出下さい。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出下さい。

● 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出下さい。

IRカレンダー



日鍛バルブ株式会社

〒257-0031 神奈川県秦野市曽屋518番地
TEL:0463-82-1311 FAX:0463-82-7413



当社ホームページのご案内

<https://www.niv.co.jp/>

日鍛バルブ

検索

当社の企業情報をはじめ製品情報や、株主・投資家向けのIR情報など、様々な会社情報を掲載しております。
是非ご覧下さい。



トップページ

IRページ



NITTAN VALVE REPORT

第96期 報告書

2017年4月1日 ▶ 2018年3月31日

INDEX

- 01 トップインタビュー
- 05 セグメントの概況
- 07 特集
- 09 連結財務情報
- 10 会社・株式情報



日鍛バルブ株式会社

証券コード：6493

UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



環境に配慮した「植物油インキ」を使用しています。

「CHALLENGE・CREATION・SPEED (挑戦・創造・スピード)」をスローガンに 掲げ、持続的な企業価値向上を目指します。

代表取締役社長 **金原 利道**

Q 当期の概況についてお聞かせ下さい。

A 当期の業績は、売上高が前年度比5.4%増の454億92百万円、営業利益が前年度比28.7%減の24億84百万円、経常利益が前年度比26.1%減の26億75百万円となりました。

減益の主な要因は、小型エンジンバルブ事業及び可変動弁・歯車・PBW事業でのコスト増加によるものです。国内の人件費及び減価償却費の増加や精密鍛造歯車事業では急激な受注増の対応とPBW事業の立ち上げコスト発生等が主な要因となります。

また、最終損益は減損損失の計上等もあり、親会社株主に帰属する当期純損失が3億68百万円となりました。

主力の小型エンジンバルブ事業で7億55百万円の減損

連結財務ハイライト

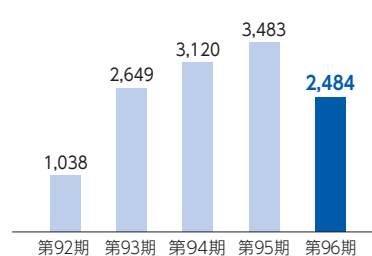
■売上高

(単位：百万円)



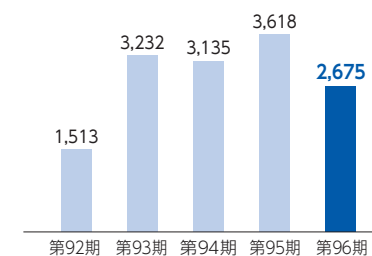
■営業利益

(単位：百万円)



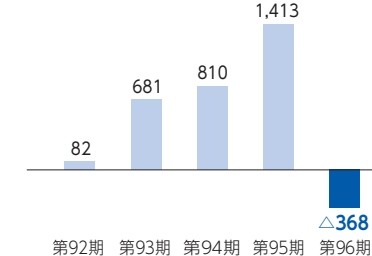
■経常利益

(単位：百万円)



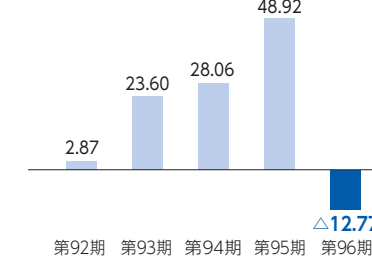
■親会社株主に帰属する 当期純利益

(単位：百万円)



■1株当たり当期純利益

(単位：円)

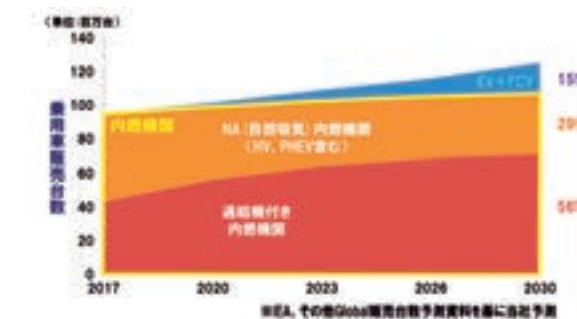


損失を計上するに至りましたが、これは国内の主要拠点である山陽工場(山口県)の中実エンジンバルブ事業におけるものです。同事業は引き続き高い需要があり、依然として人員の増員等に対応している状況にありますが、コストの改善に全力を注ぐとともに、設備の更新と合理化により生産性の改善を行い収益性の回復を目指してまいります。

Q 小型エンジンバルブ事業の中長期的な事業環境予測についてお聞かせ下さい。

A 昨今、電気自動車(=EV)の普及が話題となっておりますが、ハイブリッド車やプラグインハイブリッド車もエンジンバルブを必要とする内燃機関(=エンジン)を使っております。中長期的には、エンジンを使った四輪車が今後も世界規模で増加傾向にあります(右図参照)。とりわけ過給機(ターボ)付のエンジンが増加する見込みとなっており、それにマッチした当社の傘中空エンジンバルブや軸中空エンジンバルブの需要が増加するものと予測しております。当社では、2030年前後までこの傾向が持続するものと見ておりますが、自動車のEV化については、各国の環境規制や自動車メーカーの戦略を注視していくとともに、EV化を見据えた内燃機関以外の製品開発などを進めてまいります。

■パワートレインの動向(～2030年)



Q 中期経営計画について概要をお聞かせ下さい。

A 当社は、経営環境の変化に対応すべく3年を期間とする中期経営計画を毎年改定するローリング方式を採用しており、新たな中期経営計画として2021年3月期の売上高458億円、営業利益41億円、親会社株主に帰属する当期純利益22億円、ROE8%以上という数値目標を掲げております。

小型エンジンバルブ事業については、現在、山陽工場の一拠点のみで生産を行っている傘中空エンジンバルブを、2019年6月より中国山東省日照市の新会社で生産を行う計画です。今後も続く高い需要に対し、確実な供給体制を

構築すると同時に原価低減を行うことで同製品の付加価値をさらに高めていきます。

また、同事業の海外戦略としては、北米・欧州・アジア・中国と世界規模での供給体制をフル活用し、お客様のニーズに合わせた最適生産を引き続き実行してまいります。

次に船用部品事業ですが、海運・造船市場の本格的な回復には至っていないものの、補機・補用部品や発電機用の製品については堅調に推移しており、国内で受注した一部製品をケイエヌテック株式会社(持分法適用会社・韓国)へ生産委託することで、設備投資を抑制し、生産負荷の低減、納期短縮を図ります。この他に小型エンジンバルブ事業で培った技術を応用した新戦略製品も展開したいと考えております。

歯車事業については、主要ラインでの集中生産を軸とした収益性の改善を行い、PBW事業は、増産体制の確立と原価低減に取り組んでまいります。

これら主要施策を実行し事業体制を強化することで、中期経営計画を遂行してまいります。



中期経営計画(2019年3月期～2021年3月期)

目標指標
(2021年3月期)

連結売上高
458億円

連結営業利益
41億円

親会社株主に帰属する
当期純利益
22億円

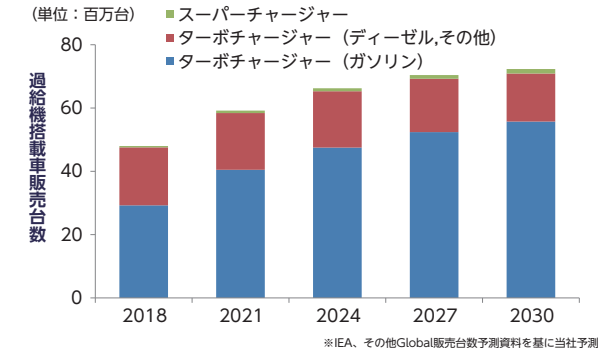
目標指標達成に向けた重点施策の概要

小型エンジンバルブ事業	船用部品事業	歯車事業
● 中空製品戦略の積極的推進 (付加価値製品)	● 海外拠点の活用 (委託生産戦略)	● 主要ラインでの集中生産
● 中実製品のコスト構造改革 (既存製品)	● 新戦略製品のライン確立	PBW事業
● Global拠点の戦略的活用		● 増産体制の確立

Q 新商品の開発状況についてお聞かせ下さい。

A 当社の新商品開発部では、様々な製品開発を行っておりますが、技術的な中期計画においてはターボ部品の開発も進めております。前述したように、内燃機関は今後も世界的に拡大することが見込まれており、その中でも小排気量のエンジンに過給機(ターボ)を搭載するダウンサイジング化がますます拡大するものと考えています(下図参照)。この流れに伴い当社では、中空エンジンバルブと同様にターボチャージャーの需要も増加するものと予測しております。

過給機搭載車の推移(～2030年)



当社は、長年のエンジンバルブ等で培った鍛造技術や加工技術を使い、ターボチャージャーの中でもウエストゲートバルブやタービンシャフトの製品開発を進めております(右図参照)。

当社の固有技術をさらに進化させることで、国内のみならず海外でも新たなビジネスチャンスを創出することが可能であると考えております。

今後の製品化・事業化をご期待頂ければと存じます。

ターボ部品の開発

新しい鍛造技術

超高精度加工技術

既存(コア)技術

ウエストゲートバルブ

タービンシャフト

エンジンバルブ

ターボチャージャー内部

更なる新製品と世界展開

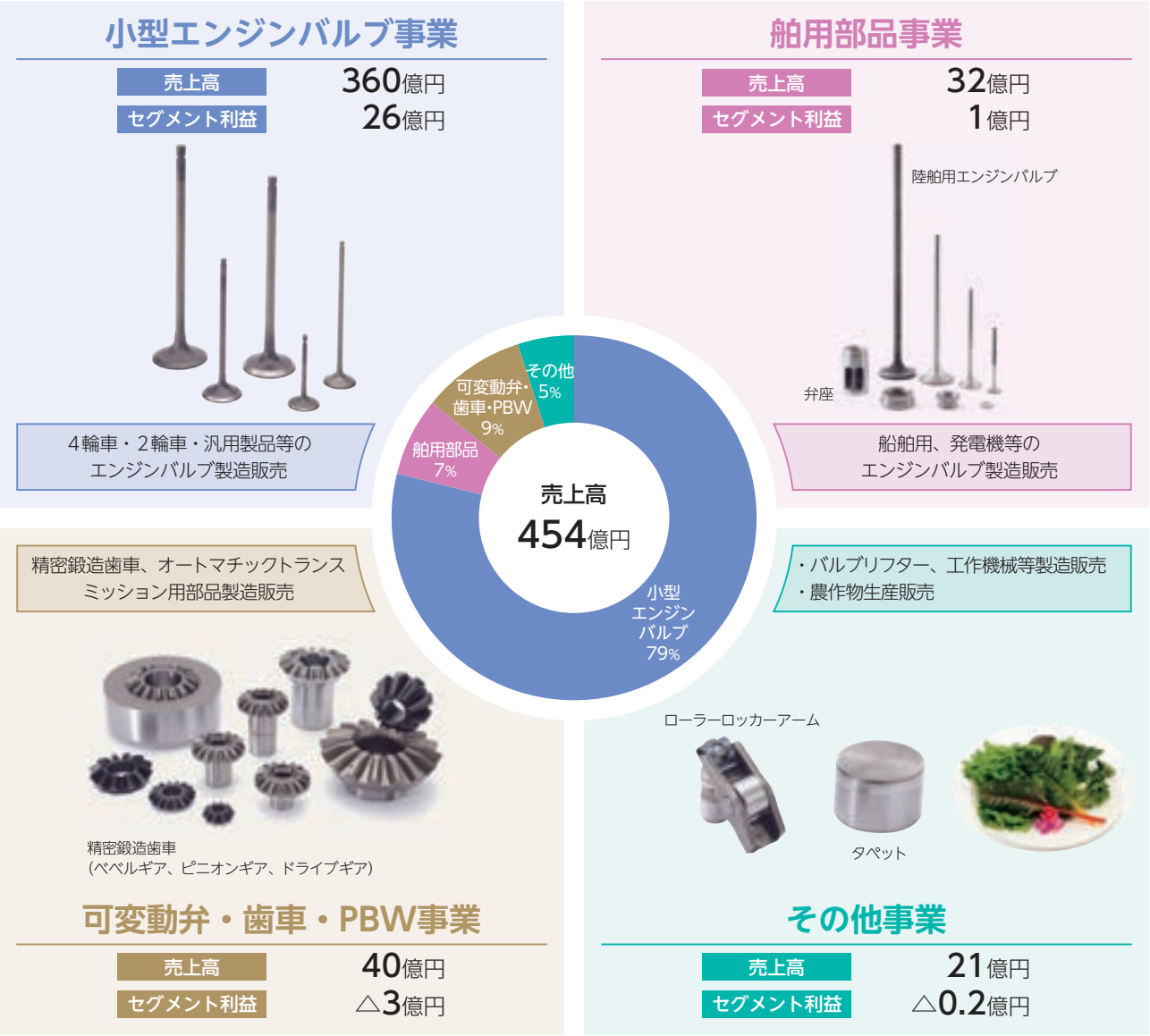
Q 株主の皆様へメッセージをお願いします。

A 企業が存続、発展していくには、今まで以上に厳しく難しい課題が想定されますが、目まぐるしく変化する環境に対応し、時代のニーズを先取りした高品質な製品・技術を提供し続ける。それが社会とともに発展していく企業としての使命であり、社会の豊かさの追求につながると考えております。

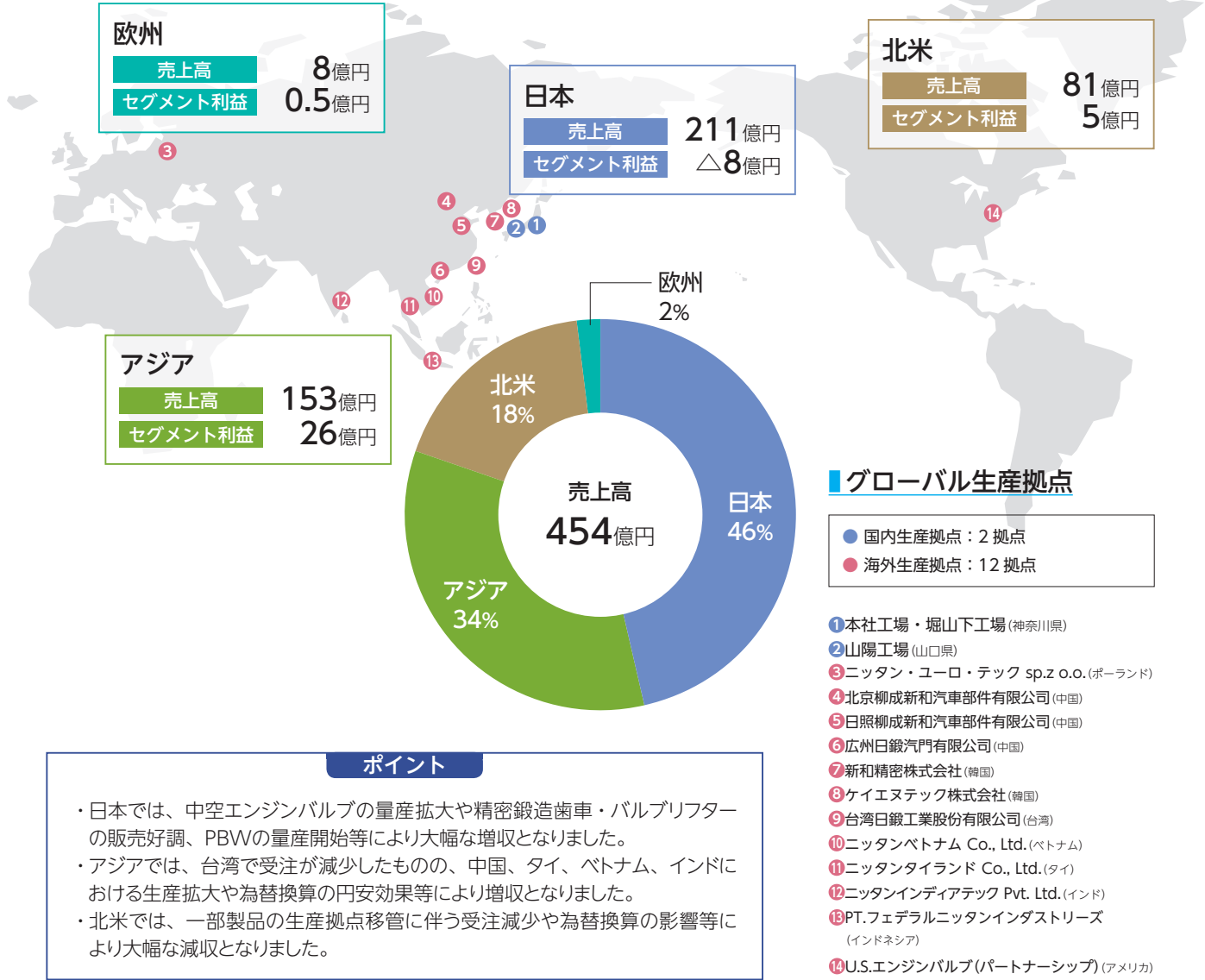
企業の社会的責任を絶えず念頭におき、当社グループの業績の向上、持続的発展を目指した企業体質の強化、企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援・指導を賜りますようお願い申し上げます。

事業別セグメントの概況



地域別セグメントの概況





Nittan (Thailand) Co., Ltd.

商 号 Nittan(Thailand)Co., Ltd.
(ニッタンタイランド)

所 在 地 タイ王国 チョンブリ県

代 表 者 三嶽勇人(取締役社長)

出資比率 当社:63.9% その他:36.1%

設 立 1997年1月

ニッタンタイランドCo., Ltd.は、1997年1月にタイ・バンコクの南東60Kmにあるアマタナコン工業団地に設立され、昨年20周年を迎えました。

同社は、日系完成車メーカーを顧客とし、同国における2輪車用エンジンバルブの生産拠点として発展してまいりました。近年では、東南アジア地域におけるモータリゼーションの進展に伴い、同地域における4輪車用エンジンバルブの主力生産拠点へシフトしております。



天然芝のグラウンド



休憩スペース

同社は、従業員同士の「つながり」・「コミュニケーション」を非常に大切にしております。工場敷地内には、せせらぎのある休憩スペースが設けられており、従業員の憩いの場となっております。この他にも天然芝のサッカーグラウンドを整備し従業員に開放するなど、福利厚生に力を入れております。

海外子会社
インタビュー

財務・経営部門 ゼネラルマネージャー

Sujitra Tantikul 氏 (スジットラ・タンティクン)

■ 会社の雰囲気をお聞かせください。

会社の雰囲気を、一言で言い表すと、“ファミリー(家族)”という言葉で表現できると思います。単なる馴れ合いではなく、従業員が互いに助け合い、フランクに意見が言える環境があります。会社において、緊密な人間関係を構築することは難しいことですが、より強固な組織を形成し会社の生産性を高めるための重要な要素であると考えています。



20周年セレモニー後の5Sコミュニケーション

■ 部門統括者として会社をよりよくするために、どのようなことを心がけていますか？

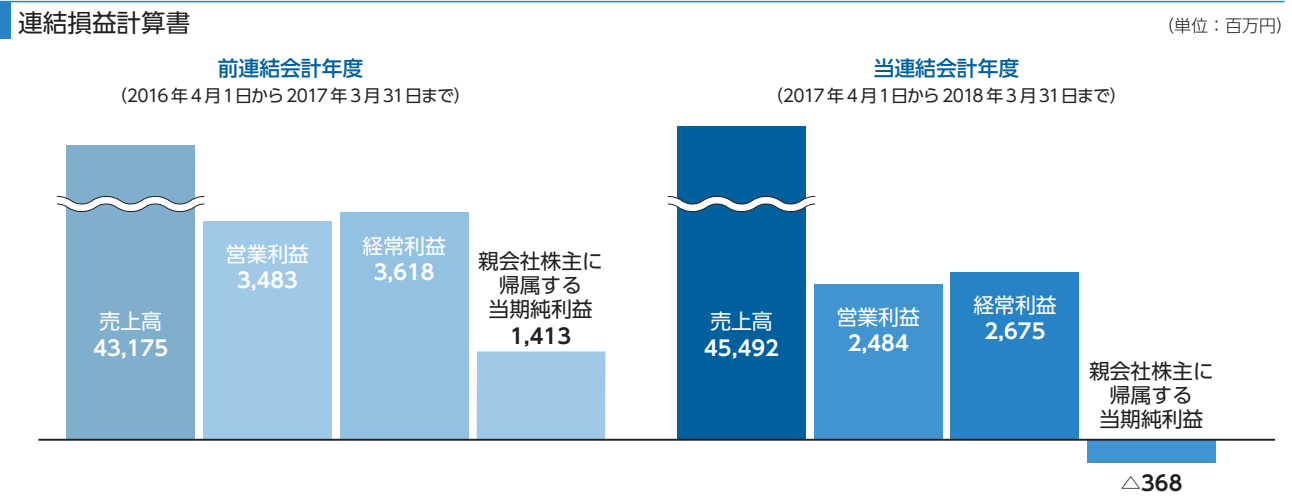
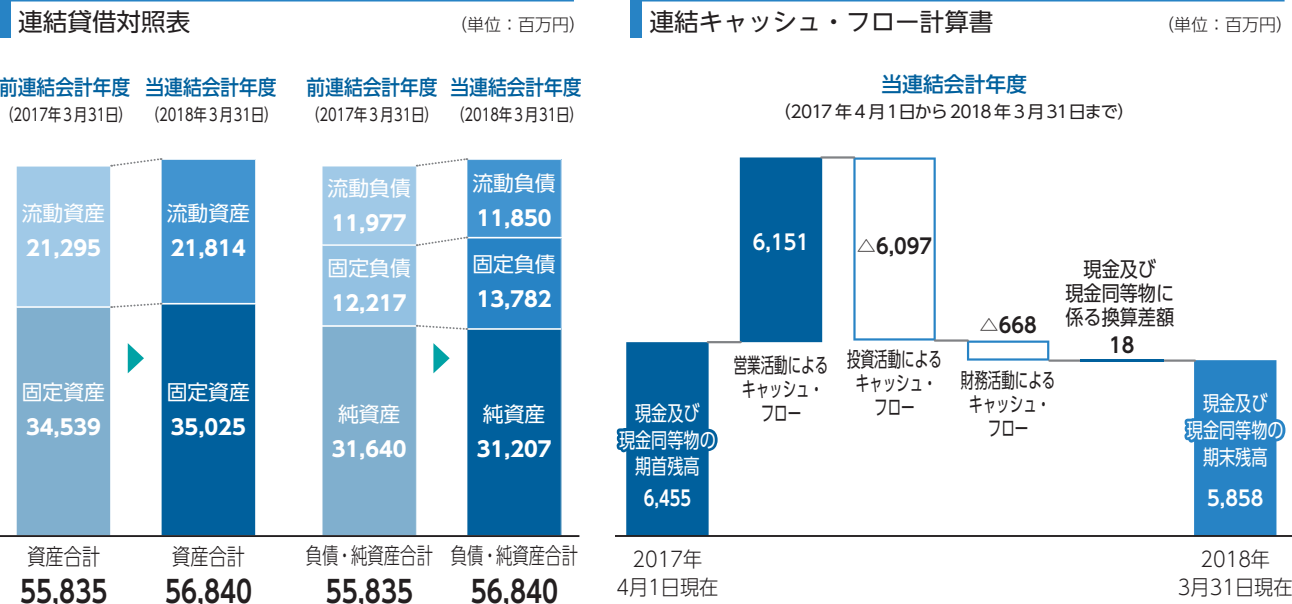
統括を任されている財務・経営部門は、パフォーマンスが非常に良好です。しかしながら、それはゴールではありません。“Success is the sum of small efforts, repeated day in and day out.(成功は、日々繰り返される小さな努力の積み重ねである)”という言葉聞いたことはありますか？会社をよりよくするためには、自己研鑽が不可欠であり、学問的なスキルだけではなくソフトスキル(コミュニケーション・リーダーシップ・ファシリテーション等)を磨くことが重要であると考えています。その中でも私が重視しているのは、“相手の話をよく聞くこと”、“共感すること”、“自分自身で目標設定すること”です。日々これらのことを実践することで、さらなる会社の発展に努めております。



プロフィール

2005年から経理部門のマネージャーとして、同社でのキャリアをスタート。

現在は、財務・経理部門の責任者として活躍しており、同社の資金管理や投資計画の策定など重要な職責を担っております。



会社概要 (2018年3月31日現在)

商 号	日鍛バルブ株式会社
本 社 所 在 地	神奈川県秦野市曽屋518番地
設 立	1948年（昭和23年）11月10日
資 本 金	4,530,543千円
従 業 員 人 数	連結 2,599名 単体 689名

役員一覧 (2018年6月22日現在)

代表取締役社長	金 原 利 道
常務取締役執行役員	李 太 煥
取締役執行役員	中 元 一 雄
取締役執行役員	井 上 文 雄
取締役執行役員	六 浦 満 夫
取締役執行役員	桧 村 雅 人
取締役執行役員	大 野 浩 浩
取締役執行役員	安 藤 輝 明
取 締 役	鈴 木 隆 司
取締役（社外）	石 垣 和 男
取締役（社外）	木 全 紀 之
取締役（社外）	金 岩
監査役（常勤）	菊 地 浩 二
監 査 役	渡 辺 博 昭
監査役（社外）	下 山 秀 弥
監査役（社外）	山 田 章 雄
執 行 役 員	栗 原 伸 元
執 行 役 員	高 橋 幸 一

国内拠点 (2018年3月31日現在)

営 業 所	東京事務所（新宿区）
	中部営業所（愛知県名古屋市中区）
	広島営業所（広島県東区）
工 場	本社工場（神奈川県秦野市）
	堀山下工場（神奈川県秦野市）
	山陽工場（山口県山陽小野田市）

主なグループ会社 (2018年6月22日現在)

U.S.エンジンバルブ（パートナーシップ）*（アメリカ）
ニ ッ タ ン ・ ユ ー ロ ・ テ ッ ク s p . z o . o . *（ポーランド）
台 湾 日 鍛 工 業 股 份 有 限 公 司 *（台湾）
広 州 日 鍛 汽 門 有 限 公 司 *（中国・広東省）
北 京 柳 成 新 和 汽 車 部 件 有 限 公 司（中国・北京市）
日 照 柳 成 新 和 汽 車 部 件 有 限 公 司（中国・山東省）
新 和 精 密 株 式 会 社（韓国・大邱広域市）
ケ イ エ ヌ テ ッ ク 株 式 会 社（韓国・慶尚北道）
P T . フェデラルニッタンインダストリーズ*（インドネシア）
ニ ッ タ ン タ イ ラ ン ド C o . , L t d . *（タイ）
ニ ッ タ ン ベ ト ナ ム C o . , L t d . *（ベトナム）
ニッタンインディアテック Pvt. Ltd. *（インド）

※連結対象会社

株式の状況 (2018年3月31日現在)

発行可能株式総数	89,000,000株
発行済株式総数	28,978,860株
株 主 数	4,705名

